

編集後記

創刊以来、本誌はA5判縦書きを原則としてきた。長い間の慣習を脱して、次号五十四巻一号よりB5判横書きに変わる。

最近パソコン使用の原稿で投稿することが多くなった。パソコン使用では横書きが便利である。また、和文の中に欧文を入れたりするのも横書きが適している。

一方、縦書きが原則である漢文を横書きにするには工夫がいる。白文は横書きにし易いが、乎古^{おこ}止^{とてん}点のある漢文は縦書きの方が良く、必要に応じて縦書きのページを残すなど一考を要する。

判をA5からB5に拡大することにより図表の組み込みがし易くなり、大きな図表も入れ易い。

判が変わり、横組みとなると当然の事、投稿規定も一部変更せざるを得ない。投稿規定はより良い論文を載せるために必要である。最近では学位論文を投稿する会員も増えてきた。そうになると、学会誌の品格も問われることになる。また読者に見易い、わかり易い誌面を作る上にも、ある程度の規定が必要である。

投稿規定は運用の段階で手直しが必要となる。投稿される時は勿論、投稿しない時でも投稿規定を読まれて御意見をお寄せ下さい。

(蔵方 宏昌)